

キャリア学習・探究学習の取組・実践報告

総合学科である本校では、生徒が高校入学後自身のキャリアデザインを構想しながら、多様な学びを重ね、自分の学びたい内容を選択して行きます。1、2年次の「産業社会と人間」という必修科目では、自分が社会にどのように参画していくのかを、様々な活動を通して広くじっくりと考えていきます。一方で、2年次からは「文理系列」「経営ビジネス系列」「ものづくり系列」の3系列の何れかを選択し、より専門的な内容も学んでいきます。そして、3年次にはそれまでの学びの集大成として「総合探究」に全員が取り組み、全校生徒や地域の方々に前に、探究成果の発表を行います。

【令和3年度の主な取り組み】

○1年次 「産業社会と人間」(週2時間)

「自分史」の作成(文化祭で展示)や木曾地域の企業調べ、「ふるさと研修旅行」等の活動を通して、自分自身と他者、自らが帰属している社会への理解を深めました。

このうち「ふるさと研修旅行」は地域の豊かな歴史や文化を学ぶことを目的として、令和3年度から始めた活動です。妻籠宿や藤村記念館、読書発電所など木曾南部地域の著名な歴史遺産を生徒自らが計画を立てて訪問し、それをポスターにまとめて発表するといった活動を行いました。



(ふるさと研修旅行)

○2年次 「産業社会と人間」(週1時間)

前期は進路ルートマップの作成や、インターンシップ・アカデミックインターンシップ(大学訪問)への準備を通して、進路へのビジョンをさらに深めました(新型コロナウイルスの流行に伴い、全体でのインターンシップ・アカデミックインターンシップは中止)。また、後期は3年次の探究活動に向けて、ふるさとが抱える諸課題について考え、解決策を検討するといった活動を行いました。

○3年次 「総合的な探究の時間」(週3時間)

3年間の学びの集大成として、「ふるさと探究学 実践編」というテーマのもと、ふるさとの課題や自身の興味関心から問いを立て、試行錯誤を重ねながら最適解を探究しました。7月の文化祭での中間発表(ポスターセッション)や11月の学年発表会、12月の総合探究発表会などで成果の発表を行い、最後に論文にまとめました。

また、昨年度は評価基準の一つにふるさとへの発信・貢献を挙げており、妻籠宿でのレンタルショップ開設や、南木曾中学校での出前授業など、地域社会と繋がり貢献することを重視した活動がいくつも行われました。



(妻籠宿でのレンタルショップ開設)



(ポスターセッション)



(総合探究発表会)

【令和3年度 探究活動の代表的なテーマ例】

- 未来へ送る過去からの防災～人の被害を最小限に～【審査員特別賞（パイオニア賞）】
- 南木曾ねこ認知度100%計画【審査員特別賞（地域創生賞）】
- アルディーノーギョウ【審査員特別賞（SDGs賞）】
- マスク越しでも笑顔を伝えたい【優秀賞】
- 小さい子のために今自分たちができること【優秀賞】
- おいしくお菓子を食べられる幸せをみんなに【優秀賞】
- 寒さと食～冬の寒さを伝統食で乗り切る～【優秀賞】
- SONAN VS 全国の強豪校【優秀賞】
- 田舎の女子高生ガイド【優秀賞】

※「南木曾ねこ認知度100%計画」、「おいしくお菓子を食べられる幸せをみんなに」の2テーマは、産業教育振興会の助成を受けて実施されたものです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

【令和4年度の主な計画】

○1年次 「産業社会と人間」（週2時間）

昨年度より始めた「ふるさと研修旅行」は、行き先の候補地や日程等を検討しつつ、今年度も実施を予定しています。

○2年次 「産業社会と人間」（週1時間）

新型コロナウイルスの状況を見極めながらではありますが、全体でのインターンシップおよびアカデミックインターンシップを実施する予定で準備を進めています。

○3年次 「総合的な探究の時間」（週3時間）

「ふるさと探究学 実践編」というテーマのもと、各グループが社会との連携を視野に入れた課題を設定し、探究を進めています。12月9日（金）には、1年間の探究の成果を発表する「総合探究発表会」を予定しています。